



IIJ GROUP PRESS RELEASE

2004年11月30日
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社アイアイジェイテクノロジー

IIJグループ、経済産業省による平成16年度「電子タグ実証実験事業」に参画

-- 世界初となる国際コンテナ物流の電子タグ実証実験にてネットワークとシステム環境を提供 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役:鈴木 幸一)および株式会社アイアイジェイテクノロジー(IIJ-Tech、本社:東京都千代田区、代表取締役:在賀 良助)は、経済産業省が行う平成16年度「電子タグ実証実験事業」において、物流業界を対象とした“国際コンテナ物流”の実証実験に参画します。本実証実験は、世界初となる複数の業種が参加する本格的な国際海上物流の電子タグ実証実験で、(社)日本物流団体連合会が事業主体となって国内4拠点・海外4拠点の工場・港の計20ヶ所にて2005年3月まで行われます。

本実証実験において、IIJグループはEPCglobalが提唱するEPC体系に準拠した「EPCシステム」およびネットワークインフラを提供します。「EPCシステム」とは、電子タグコード・属性情報・履歴情報などの電子タグに紐づく情報をインターネット上で登録・参照・変更することを可能とするシステムで、従来の自社または業界に閉じた電子タグの利用ではなく、より汎用的で拡張性に優れた利用を実現します。本実証実験では、「EPCシステム」を活用して、荷主となる製造業者から陸上コンテナ輸送、海上コンテナ輸送を経て仕向地に至るトレードレーンにおける物流全体の業務プロセス改善による物流効率化を実証します。例えば、物流業務の基本単位となるコンテナ、パレット、ケース、個品の電子タグ情報を階層化して「EPCシステム」で管理を行うことにより、コンテナが港湾を通過した後の貨物の追跡や倉庫におけるコンテナへの積み込み・積み卸しといった物流作業に伴う貨物履歴の可視化を実現するなど、「EPCシステム」の有効性を検証します。

IIJグループでは、上記実験以前にも、2003年に大手アパレルメーカーが行った電子タグ実証実験に参画、世界初となる「EPCシステム」を自社開発するなど、積極的に電子タグ事業を推進しております。これまで培ってきた知見とノウハウをもとに、2005年には電子タグの導入を希望するお客様が「EPCシステム」のコンポーネントを手軽にご利用いただけるサービス「Auto-IDソリューションサービス」の提供を開始するなど、IIJグループは今後も最新技術の開発とサービス化を進めてまいります。

報道関係問合せ先

IIJグループ 広報部 米山、稲

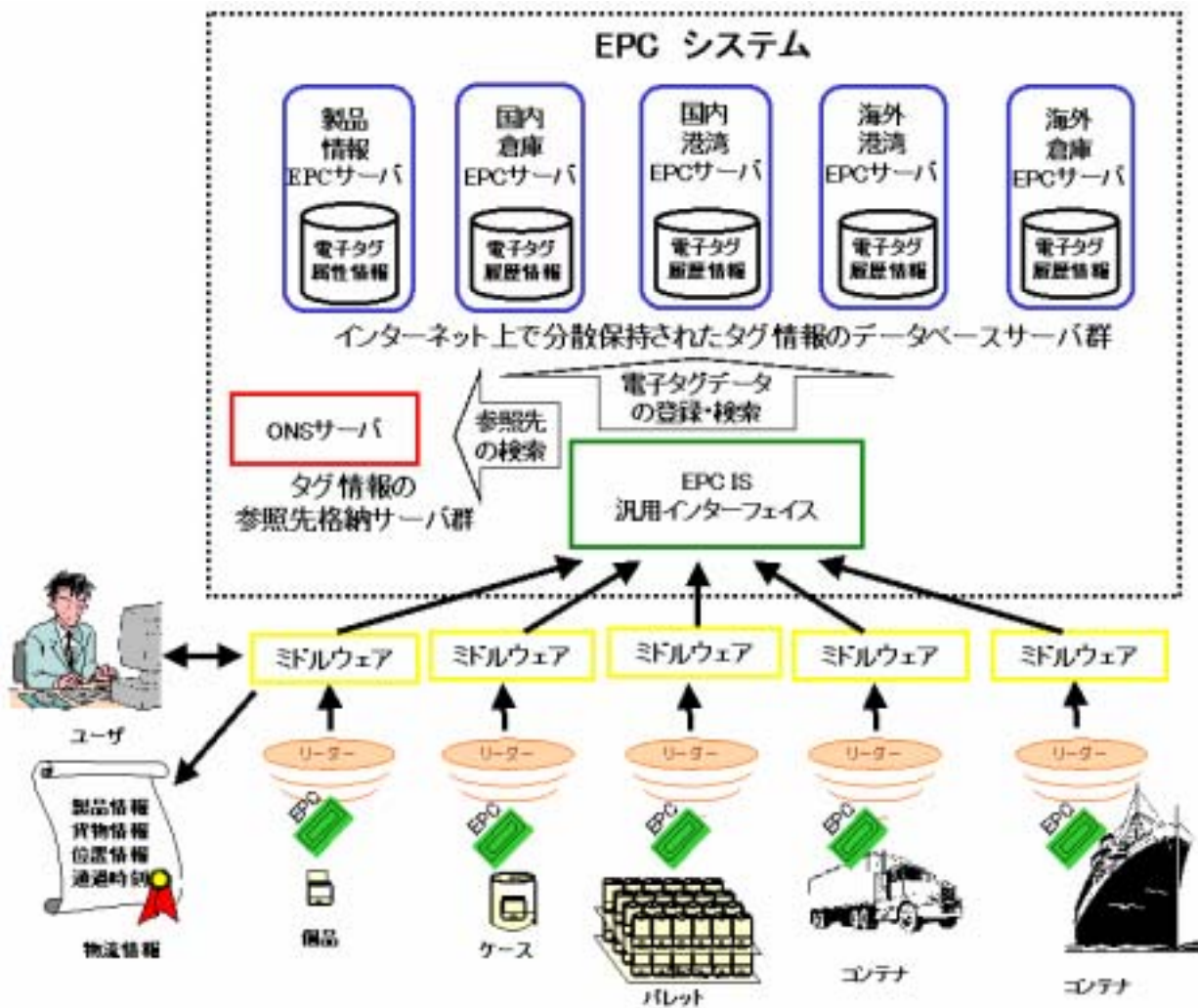
TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <http://www.iij.ad.jp/>

【別紙】

EPC システム

電子タグコード・属性情報・履歴情報などの電子タグに紐づく情報をネットワーク上で汎用的に登録・参照・変更できるシステム。EPCglobal で薦められている最新の標準化技術を取り入れ、汎用性・拡張性に優れたタグ情報管理基盤システムが提供される。



国際コンテナ物流電子タグ実証実験プロジェクト概要

事業主体	(社)日本物流団体連合会
期間	2005年3月
拠点	国内(東京、横浜、名古屋、神戸)、海外(ロサンゼルス、アントワープ、香港、大連)
取扱製品	木材、化学品、ドラムユニット、プラズマテレビ、玩具等
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子タグ、EPC システムの有効性確認 ・ 物流サービスの高度化 ・ SMC への寄与 ・ ナショナル・トレード・セキュリティへの対応 ・ 国際間での互換性確保 ・ 可視性の確保、物流業務の効率化、迅速性確保、コスト削減 ・ 国際会場物流でのセキュリティ対策 ・ 米国セキュリティルールの強化に備えて、予め影響(コスト、運用)を把握